

西川産業(株)日本睡眠科学研究所所長	古川 雅嗣 様
(一社)日本ゴム工業会事務局長	青木 正己 様
ウレタンフォーム工業会専務理事	大川 栄二 様
(株)ブリヂストン加工品新事業開発室課長代理	中西 貴浩 様
(株)ロマンス小杉マーケティング部 MD	竹内 伸一 様
(一財)ボーケン品質評価機構開発部課長	坂井 史治 様 (代理出席) 大口係長
(一社)日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良 中村 富夫
オブザーバー	
ユニチカガ - メンテック(株)取締役	久次米正弘 様

JBA 第 4 期業種別委員会：第八回ウレタン・敷部会議事次第

記

1. 開催日時 平成 29 年 11 月 29 日 (水) 10:30 ～ 12:30
2. 開催場所 一般社団法人日本寝具寝装品協会 ☎03 - 6661 - 0213
東京都中央区日本橋小舟町 7 - 2 小舟町 243 ビル 7F
3. 議題(1) ユニチカガ - メンテック(株) 寝返り試験の説明
 - (2) (株)東洋クオリティワン加古川工場寝返り試験について
 - (3) 3 社体圧分散性試験データ比較と試験方法について
 - (4) 他

議事録

議題 (1)

奥谷専務 : ウレタン・敷、ふとん、まくら各部会での消費者目線での品質、性能表記ガイドラインを来年明け、所轄官庁報告し来秋には業界実施していきたい。

久次米役員 : 資料寝返り測定試験の説明

寝返りは、上体と(腰)主導と足の体動であり、また敷の硬軟で違ってくる。睡眠状態では、正確な計測データの取得はできない。

奥谷専務 : 住友理工体圧測定器では、一晚の寝返り回数測定ができる。

久次米役員 : 体動センサーでの回数測定では半返り等もあり判定しづらい面がある。

青木委員 : 快適な自然の寝返り回数は何回なら適当なのか。

奥谷専務 : 適当であろうとする寝返り回数は 30 回程度である。

大口係長 : ボーリングでもマネキンでも筋電位でもほぼ同じ結果が出ている。

中西委員 : 生地の滑りやすさとかは考慮しているのか。

久次米役員 : 滑りやすさまではしていない。

マネキン測定では準備 10 分 3 回測定で、1 日 20 検体試験可能である。

前準備では、24 時間 20℃65%環境室に保管して測定する。

試験基準化するならマネキン方式であろう。

大川委員 : マネキン重量も男性用/女性用基準が必要と思うし、差が生じると思う。

議題 (2)

青木委員 : 東洋クオリティワン法となってもユニチカガ - メンテック他でも可能か。

久次米役員 : 試験は可能と思います。

古川部会長 : 東洋クオリティワン法式特許への抵触部分とか、了解を得る必要もある。

古川部会長 : 他の寝返り測定法はないでしょうか。

久次米役員 : 磁気センサー8本装着しての測定法もある。

中西委員 : ゴルフスイングチェックのモーションキャッチャー加速度センサー法もある。

古川部会長 : 寝返り試験では、マネキン法が一番理に適っていると思われる。

議題 (3)

久次米役員 : 体圧分布測定は、極端ではあるが腰部分だけデータ取れば全体感は見えてく
ると思う。ユニチカ・ガ - メンテックではNITTA 測定器を使用している。

古川部会長 : 体圧測定法は 3 社それぞれで決めがたいところがあるが、色調製等含めて測
定する為の条件合わせキャリブレーションもあるので、外部試験機関で確認
してもらい必要がある。

ユニチカガ - メンテックとボーケンで体圧測定試験を NITTA 式と住友理工式
で4枚マットレス敷を送り実施して見たい。

久次米役員 : 試験日 12 月 8 日 (金) で検討してみる。

大口係長 : 試験日 12 月 13 日 (水) で検討してみる。

議題 (4)

竹内委員 : 硬さ 5 段階表記を 弱、普通、強のような字句にするのはどうか。

古川部会長 : 次回 12 月 13 日は、硬さ 5 段階表記検討と、ユニチカガ - メンテックでの体
圧測定データ検証と、ボーケン品質評価機構での NITTA 式、住友理工式での
体圧測定データ作業を実施する。

以上